

【藤本吉利さんプロフィール】

1972年「佐渡の國鬼太鼓座」に入座、1981年「鼓童」創設に参加し、以来35年間、太鼓奏者として数々の舞台に立ち、大太鼓や屋台囃子といった舞台のクライマックスを飾る。鼓童の最年長奏者。

近年は研修生の指導や一般向けのワークショップを行うなど、幅広い活動を行っている。「鼓童」の名前の由来同様、永遠に太鼓の「童」でありたいと願う太鼓大好き人間。



【山口幹文さんプロフィール】

鼓童の創設メンバー。篠笛奏者。1980年当時の鬼太鼓座に入座、笛を独学にて習得。以来、鼓童のプレイヤーとして、笛・胡弓・箏・三味線などを務める。現在は、鼓童の舞台演出や作曲を担当している。鼓童の国内外の公演ツアーに参加するかたわら「一管風月」というタイトルでのソロコンサートも行なっている。



【鼓童プロフィール】

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。「鼓童」とは、人間にとって基本的なリズム、心臓の「鼓動」から音をとった名前ですが、それは大太鼓の響きが母親の胎内で聞いた最初の音、心臓の鼓動につながることからきたものです。そしてそこには、「童」のように何ものにもとらわれることなく、無心に太鼓をたたいていきたいという願いがこめられています。

1981年ベルリン芸術祭でのデビュー以来、年の1/3を海外、1/3を国内、1/3を本拠地の佐渡で過ごし、「ワン・アース・ツアー」とよぶ公演活動を中心に、これまでに45ヶ国3,100回以上の公演を行っています。1988年から佐渡の市町村と共に毎年開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」は、ニューヨークタイムズ紙に日本で最先端のワールドミュージックイベントと評されています。1997年には財団法人鼓童文化財団を設立。研修所の運営や調査研究、ワークショップの実施等も行っていきます。

http://www.kodo.or.jp/news/index_ja.html